

ロシア核兵器使うな

静岡・焼津 久保山愛吉氏の墓前祭

米国の水爆実験により、マーシャル諸島島民や近海で操業していた多くの漁船の船員が放射線被爆をうけたビキニ事件から68年目の1日、静岡県焼津市の弘徳院で、故久保山愛吉氏（第五福竜丸無線長）の墓前祭が行われました。各団体代表が、ロシアのウクライナ侵略と核兵器使用を許さず、核兵器廃絶をめざす誓いをしました。

主催者の荒川庸生・

日本宗教者平和協議会代表理事は、久保山氏の「原水爆の犠牲者は私を最後にしてほしい」の遺言にこだえるために、ロシアの核兵器使用をなんとしても阻み侵略をぐるどめると強調。コロナ禍の困難もあるが、核兵器廃絶へ全力を尽していいと述べました。

第五福竜丸平和協議会

核兵器廃絶の願いをこめて市内を歩く宗教者ら=1日、静岡県焼津市



となると述べ、「久保山さんの思いを実現するまで、私たちがこれからも前進していく」と力説しました。

日本原水爆被爆者団体協議会の木戸季市事務局長は、「ロシアの核兵器の威嚇は被爆者の願いを踏みにじるもの。世界の人たちとアーチン大統領の野望をやめさせていく。久保山さんの言葉を肝に銘じ、再び被爆者をつぶらせない」と強調しました。

原水爆禁止世界大会実行委員会の高草木博士代表委員、3・1ビキニデー静岡県実行委員会の谷健二氏は、被爆国・日本政府に核兵器禁止条約署名・批准をさせの決意などを述べました。

中野弘道焼津市長、松井一眞広島市長、田上富久長崎市長からメッセージが寄せられました。

墓前祭開始前には、

宗教者ら有志が市内で墓参行進を行いました。

の日本義理理事は、ロシアの核兵器禁止条約による威

違法の核兵器による威

とともに確実な平和で國